

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	泌尿器科疾患に対する治療がCOVID19ワクチン接種後の抗体価に与える影響についての臨床研究		
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院、鷹揚郷腎研究所鷹揚郷腎研究所弘前病院で泌尿器科疾患に対し治療を行なった患者。疾患名：前立腺癌(内分泌療法、化学療法、手術治療、放射線療法、密封小線源療法、核医学治療、骨修飾薬等)、尿路上皮癌(手術、化学療法、免疫療法、放射線療法等)、腎癌(手術、分子標的薬、免疫療法、放射線療法等)、その他の悪性腫瘍、副腎腫瘍、精巣腫瘍、尿路結石、尿路感染症、排尿障害、不妊症、慢性腎不全、腎移植(生体・献腎)、その他泌尿器科疾患(手術療法、薬物療法、保存的治療等)、健常コントロールとして研究に協力いただいた方		
3. 対象となる期間	2021年3月～2025年3月		
4. 実施診療科等	泌尿器科		
5. 研究責任者	氏名	藤田 尚紀	所属 泌尿器科学講座
6. 研究の意義	コロナワクチンが使用できるようになったが、免疫抑制剤やステロイド治療を受けている患者さんは抗体産生力が弱いことが報告されている。さらに、抗体産生力は、個々人の免疫力を測る重要なツールになる可能性もあり、泌尿器科疾患で治療を受ける患者さんのコロナ抗体測定は緊急性と意義の大きいものであると考えられる。		
7. 研究の目的	腎・泌尿器疾患に対する治療を受けた患者さんで、コロナワクチン接種を受けた患者さんの血液を用いて泌尿器科疾患の治療がコロナ抗体価に与える影響、コロナ抗体の経時的変化、抗体価と治療アウトカムの関係、安全性について調査する。		
8. 研究の方法 (使用する資料等)	過去に採取された血液をもちいてコロナ抗体価を測定する。カルテ記載より臨床情報、治療効果、再発、予後等について評価する。この場合は通常診療で得られた情報のみを用いる後ろ向き研究であり、新たな侵襲や負担が発生することはない。		
9. 個人情報の保護	研究担当医師等は、症例報告書の作成、臨床研究の実施に係る原資料及び対象者の同意文書等に基づいた臨床データの公表に関しては、対象者の氏名や疾患等のプライバシー保護に十分配慮する。また、個人データは研究担当医師の監督のもと管理を行う。		
10. 問い合わせ先	弘前大学 医学部 泌尿器科学講座 (月～金:9:00-17:00)		
	電話	0172 - 39 - 5091	FAX 0172 - 39 - 5092

提出先

医学部附属病院 総務課

総務グループ 総務・広報担当

E-mail : jm6453@cc.hirosaki-u.ac.jp